

科目名	発達心理学Ⅱ	
担当者	松田 君彦 / MATSUDA, Kimihiko	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	人間の誕生前後から死に至るまでの生涯を対象とした、発達に関する基礎的理論や捉え方を紹介する。また、さまざまな時期における対人関係が、生涯を通しての心の発達にどのような影響を及ぼすかを考える。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の心理的発達に関する基本的な概念や理論について理解する。 ・人間は『関係的存在』であり、関係の質が発達を左右することを理解する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達心理学とは：発達の捉え方（遺伝か環境か、…） (2) 発達研究法：横断的研究と縦断的研究、他 (3) 発達の生物学的基礎：ポルトマンの研究 (4) ヒトにおける親子関係の特徴 (5) 胎児期・乳児期の発達：身近な人との出会い (6) 幼児期の人間関係：親との関係、仲間関係、…… (7) 乳幼児期の心理臨床的問題：愛着障害、…… (8) 児童期の発達：子どもの認知機能の発達（ピアジェ理論を中心に） (9) 児童期の発達：子どもの認知機能の発達（ピアジェ理論を中心に） (10) 児童期の発達：仲間関係の発達過程（児童期の出会いと別れ） (11) 青年期の発達：自分探しの旅、青年期の友だちとの出会いと別れ (12) 児童期・青年期の心理臨床的問題：ギャング・エイジの喪失、… (13) 成人期の発達：大人としての社会的責任 (14) 中年期・老年期の発達と問題 (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、授業の初めに前回の授業内容の小テストを行う。
使用教材・参考文献	<p>【教】 浜崎隆司・田村隆宏編著『やさしく学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、2011年。</p> <p>【参】 授業中に、適宜紹介する。</p>	
成績評価方法と基準	<p><基準> 上記の到達目標が達成されたものを合格とする。</p> <p><方法> 試験(80%)、授業への参加度(20%)</p>	
備考		